

奈良女子大学古代学学術研究センター 第11回 都城制研究集会「都城と交通」

日時：2017年2月11日(土・祝) 10:00～17:30

会場：奈良女子大学 文学系N202講義室

あらまし



都城というかたちで国政の拠点が設けられると、そこは全国規模の交通の中心となる。都城が交通の中心になると、どのような交通が展開し、それに伴って人びとの行動や意識はどのように変化し、社会にいかなる質的变化をもたらしたのか。本シンポジウムでは都城をめぐる空間認識やそれを反映した祭祀なども視野に入れて、都城を核に展開された官人や人々の移動、それに伴う物資や情報の移動・流通を多角的にとりあげる。また、都への出入りに伴う人々の心情などについてもアプローチしたい。これらを通して、都城制の成立・変容の歴史的意義を考えたい。



プログラム



午前の部

- 10:00～10:05 挨拶 出田和久（古代学学術研究センター長）
- 10:05～10:35 都城と交通 一問題提起として一
館野和己（古代学学術研究センター）
- 10:35～11:15 難波京と難波大道・大津道
積山 洋（公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所）
- 11:15～11:55 都城と祭祀 一鬼・神・仏の移動一
山近久美子（防衛大学校）

午後の部

- 13:00～13:40 都へのモノの移動 一都市的消費市場の形成が古代社会の発展を促す一
三好美穂（奈良市埋蔵文化財調査センター）
- 13:40～14:20 紫香樂宮造営の意図と遺物からみた地域交流
鈴木良章（甲賀市教育委員会）
- 14:20～15:00 平安京における地域交流 一遺物から見えるもの一
鈴木久史（京都市文化財保護課）
- 15:10～15:50 遷都時における京戸の移動
宍戸香美（奈良女子大学 博士研究員）
- 15:50～16:30 『萬葉集』における「ミチ」
尾山 慎（奈良女子大学）
- 16:40～17:30 討論

申込不要
入場無料



主催：奈良女子大学 古代学学術研究センター

運脚イラスト：山元章代

問合せ：奈良女子大学古代学学術研究センター 〒630-8506 奈良市北魚屋東町 奈良女子大学コラボレーションセンター205
Phone&FAX：0742-20-3779 E-mail：kodaigaku@cc.nara-wu.ac.jp